

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
(天井カセット形 4 方向吹出しタイプ)
気化式加湿器 取扱説明書

形名 TCB-HS906U
TCB-HS1606U

日本国内専用品
Use only in Japan

- このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 取付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

仕 様

形 名		TCB-HS906U	TCB-HS1606U
適用 室内ユニット 形名	AIU- 機種	P40～P71形 P80形(形名末尾がHタイプ)	P112～P160形 P80形(形名末尾がDタイプ)
	MMU- 機種	P28～P71形 P80,90形(形名末尾がHタイプ)	P112～P160形 P80,90形(形名末尾がDタイプ)
標 準 加 湿 能 力		0.8kg/h	1.3kg/h
通 過 空 気 温 湿 度		DB45℃ 15%RH	
外 形 寸 法		515W×154H×162D mm	515W×217H×162D mm
加 湿 器 本 体 質 量		1.9kg	2.3kg
電 源		単相AC200V 50/60Hz	
消 費 電 力		3.5W	
電 圧 許 容 範 囲		±10%	
絶 縁 抵 抗		100MΩ以上	
絶 縁 耐 圧		AC1500V 1分間印加異常なし	
一 次 側 給 水 圧 力		0.05～0.5MPa(ポンプで給水する場合は0.05～0.3MPa)	
使 用 水		上水道または、これと同等以上の水質のこと(水温5℃～40℃)	
周 囲 温 湿 度		5℃～40℃ 90%RH以下	

※加湿能力は、TCB-HS906UをAIU-GP801Hに、TCB-HS1606UをAIU-GP1601Hに組み込み、加湿器入口温度DB 45℃・相対湿度15%RH・エアコン本体標準風量にて運転したときの能力です。

運転する前に

- 1.加湿器本体が確実に取り付けられていることを確認してください。
- 2.加湿器取付側のエアコン吹き出し口内にゴミなどが詰まっていないことを確認してください。
- 3.給水配管が正しく確実に接続されていることを確認してください。
- 4.電気配線が正しく確実に接続されていることを確認してください。

運転確認および開始

- 加湿器を取り付けて初めて運転する場合には、必ず下記の手順で運転を行い、正常に動作することを確認してください。
 - ①電源ブレーカーを入れてください。
 - ②給水サービスバルブを開けて通水してください。
 - ③エアコンの運転切換を「暖房」にしてください。
 - ④温度設定を希望の温度にします。
 - ⑤湿度調節器の湿度設定目盛を最大にします。
 - ⑥運転／停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
 - ⑦運転を停止するには再び、運転／停止ボタンを押します。※加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止しているときは加湿器も停止します。
※運転停止後、加湿エレメントを乾燥させるため送風機が微風運転します。

運転中の注意

- 1.必ず給水サービスバルブは開けておいてください。
- 2.運転中はドレンが出ますが異常ではありません。
- 3.定期的に保守点検を行ってください。

長期間運転を休止（シーズンオフなど）するときは

- 1.給水サービスバルブを閉めておいてください。
- 2.シーズンオフ中に付着した汚れを取るために、シーズン開始時は運転前に必ず保守点検を行ってください。
- 3.シーズンオフ中に給水配管内の水は腐敗してしまいます。シーズン開始時は加湿器に通水する前に必ず給水配管内のフラッシングを行ってください。

長くご使用いただくために

- 保守点検は必ず行ってください。
(保守点検作業は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店または取扱店に依頼してください。)
- 特に加湿エレメントの点検は、加湿器としての性能を維持し、長くご使用いただくために最も重要な作業ですので、必ず行ってください。

保守点検

保守点検作業は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店または取扱店に依頼してください。

1.作業前の注意事項

- 1)必ず給水サービスバルブ(現地手配)を閉め、電源ブレーカーをOFFにしてください。
- 2)工具類は適正な寸法のものでご使用ください。締めすぎ・締め不足は故障の原因となります。
- 3)部品交換の場合は、必ず純正部品をご使用ください。
- 4)作業にあたってはいずれも安全に留意し、特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等に注意してください。

2.作業内容と必要工具

作業内容		周期	必要工具
一般保守	Y型ストレーナーまたは、給水ストレーナー掃除	運転開始後1～2日 その後は加湿エレメント洗浄の都度	モンキーレンチ(125mm程度)×2本 バケツ等(残水受容器)
	電装部点検	1シーズンごと	プラスドライバ(φ6)×1本
	加湿エレメント洗浄	1シーズンごと 汚れの状況により適宜周期を早める	プラスドライバ(φ6)×1本 モンキーレンチ(125mm程度)×2本 洗浄剤：台所用中性洗剤、水またはぬるま湯 洗浄用容器、ブラシ(やわらかいもの)
部品交換	加湿エレメント交換	3シーズンごと 汚れの状況により適宜周期を早める	プラスドライバ(φ6)×1本 モンキーレンチ(125mm程度)×2本
	給水用電磁弁取替	故障または破損時	
	減圧弁取替	故障または破損時	

